

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年4月2日(2010.4.2)

【公表番号】特表2005-523934(P2005-523934A)

【公表日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【年通号数】公開・登録公報2005-031

【出願番号】特願2004-501363(P2004-501363)

【国際特許分類】

C 07 D 317/62	(2006.01)
A 01 N 43/30	(2006.01)
A 01 N 43/32	(2006.01)
A 01 N 43/56	(2006.01)
A 01 N 43/78	(2006.01)
C 07 D 405/12	(2006.01)
C 07 D 407/12	(2006.01)
C 07 D 409/12	(2006.01)
C 07 D 417/12	(2006.01)
C 07 B 61/00	(2006.01)

【F I】

C 07 D 317/62	C S P
A 01 N 43/30	
A 01 N 43/32	
A 01 N 43/56	B
A 01 N 43/78	B
C 07 D 405/12	
C 07 D 407/12	
C 07 D 409/12	
C 07 D 417/12	
C 07 B 61/00	3 0 0

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年2月9日(2010.2.9)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

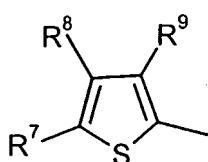
【訂正対象項目名】0006

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0006】

【化91】



上式で、

R⁷およびR⁸は、互いに独立して、水素、ハロゲン、C₁～C₄-アルキル、または1～5個のハロゲン原子を有するC₁～C₄-ハロアルキルを表し、

R⁹は、ハロゲン、シアノ、またはC₁～C₄-アルキル、または1～5個のハロゲン

原子を有する C₁ ~ C₄ - ハロアルコキシを表し、

あるいは、Aは次式の基を表し

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0022

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0022】

さらに、式(I)のビフェニルカルボキサミドは、

a) もし適切であれば触媒の存在下に、もし適切であれば酸結合剤の存在下に、およびもし適切であれば希釈剤の存在下に、

式(II)のカルボン酸誘導体を、

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

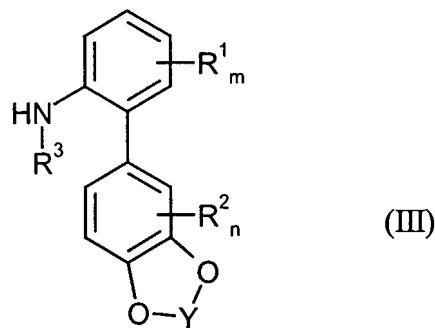
【訂正対象項目名】0024

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0024】

【化108】



(式中、R¹、R²、m、n、R³、およびYは上記に明示されている通りである)ときに、

あるいは、

b) 触媒の存在下、もし適切であれば酸結合剤の存在下に、およびもし適切であれば希釈剤の存在下に、

式(IV)のカルボキサミド誘導体を、

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

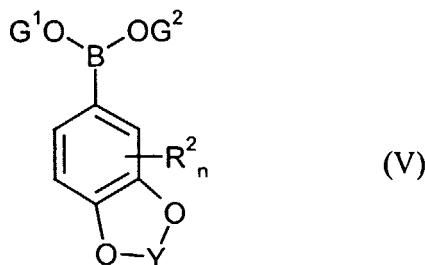
【訂正対象項目名】0026

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0026】

【化110】



(式中、R²、n、およびYは上記に明示されている通りであり、G¹およびG²はそれぞれ水素を表すか、または共にテトラメチルエチレンを表す)ときに、

あるいは、

c) 触媒の存在下に、もし適切であれば酸結合剤の存在下に、およびもし適切であれば希釈剤の存在下に、

式(VI)のカルボキサミドボロン酸誘導体を、

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

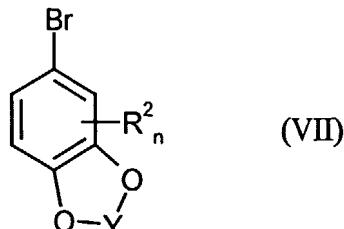
【訂正対象項目名】0028

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0028】

【化112】



(式中、R²、n、およびYは上記に明示されている通りである)ときに、

あるいは、

d) パラジウムまたは白金触媒の存在下、および4,4',4'',5,5',5'-オクタメチル-2,2'-ビス-1,3,2-ジオキサボロランの存在下に、もし適切であれば酸結合剤の存在下に、およびもし適切であれば希釈剤の存在下に、

式(IV)のカルボキサミド誘導体を